

これからの働き方を考える 今話題の 「国東時間」とは…



廃校になった小学校を利用し会社に



アキ工作社はダンボールクラフトの企画制作・製造・販売をしている

新聞や雑誌、テレビでも数多く取り上げられている「国東時間」をご存じでしょうか？これからの新しい働き方になるかもしれない「国東時間」の生みの親、アキ工作社社長松岡勇樹さんに話を伺った。

そもそも国東時間とは三つの働き方を指すのだという。まず一つは有名な週休三日制。1日8時間労働を10時間の間にすることによって金土日の週休三日制にするというもの。二つ目は定年退職の廃止。ずっと働ける会社にする。ことにより労働力不足を解消するというもの。三つ目はボランティア活動等への手当。増えた休日を無駄に使うことなく、ボランティア活

国東応援隊新聞

毎月発行

国東市役所 政策企画課
☎0978-72-5161
<http://web.city.kunisaki.oita.jp/>

ブログ掲載中
excite
<http://kunisaki2.exblog.jp/>
f <http://www.facebook.com/kunisaki.ouentai>

動や自分のスキルアップにつながる事をしたら手当が付くというもの。この二つを合わせて国東時間なのだ。実際アキ工作社でも国東時間を導入後、労働時間は短縮したにも関わらず、収益はアップしたのだという。以上の事が評価され平成26年11月に首相官邸で開かれた政労使会議に呼ばれ、安倍総理をはじめ閣僚や経団連、連合の会長などに説明を求められた程だ。市内でも少しずつ広がりを見せている国東時間。松岡さんは「これからの働き方を見直すきっかけにしてほしい」と話す。



アキ工作社 松岡勇樹社長(中央)



グリーンツーリズムの光景

6次産業といえば「農産物を加工して販売するもの」と思っている方が多いと思う。実はグリーンツーリズムも立派な6次産業なのである。では、グリーンツーリズム(以下GT)とは何か？ヨーロッパが発祥のGT。都会の人が農村でのんびりと長期休暇を過ごす事をいう。日本のGTでは短期滞在が主流なようだ。

国東市にGTを広めた立役者でもある、国東市くにみグリーンツーリズム研究会会長 長田中友昭さんに話を伺った。

農家の新しいかたち!? 6次産業グリーン ツーリズム(GT)



田中さんご夫婦

平成8年、GTの活動に着目した田中さんは日本のGT先進地でもある安心院町で宿泊体験、講師を招いての勉強会など精力的に活動。平成10年に農村民泊を開始したのが始まりという。現在は教育旅行(中学生の体験学習)が中心だが、39戸の農家が宿泊客を受け入れている。平成26年度は2,384名もの中学生が国東市へ訪れ、GTを楽しんだという。「今後は受け入れ農家の高齢化で国東市のGT継続・拡大が困難になる一方、これからの農家の副収入になることは間違いない」と田中さんは話す。興味がある方は一度、連絡をしてみてもいいかであろうか。

問合せ／国東市くにみグリーンツーリズム研究会
事務所 ☎(0978)82・0505(中村)

↑ 市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。
制作／国東応援隊

東京ビッグサイトで国東市の魅力を!! 地域おこし協力隊の募集と 移住に関する相談会に参戦!!



JOIN 移住・交流&地域おこしフェア会場の様子

1月18日(日)東京ビッグサイトで開催された、「JOIN 移住・交流&地域おこしフェア」に国東市移住者・協力隊として参加してきた移住希望者へ説明を行う移住・交流エリアに107団体と、平成27年度地域おこし協力隊の志願者への説明を行う地域おこし協力隊募集エリアに110団体の出展で約400名を募集していた。国東市は今回は国東市も地域おこし協力隊を4名募集することとなり、こちらの方も力を入れるフェアとなった。オープニングセレモニーでは小泉進次郎内閣府大臣政務官が挨拶し、地方創世(まちひと・しごと創生法)を主張。来場者も、いままで行った移住フェアとは違い、協力隊を希望される方が多く感じた。協力隊の話や、移住してきた体験談、国東市の魅力に関東圏の方に伝える事が出来たフェアとなった。主催者の情報では来場者は約7,000人との事。全国各地で移住希望者や協力隊の取り合いとなってきた中、空き家の物件数が豊富や空港があり便利などだけでなく、もつと移住者にとつて生活しやすい環境が整った魅力ある国東市独自の政策などを充実していく必要があると感じた。



オープニングセレモニーの様子

空き家バンクを通して 移住されてきた方をご紹介します

ようこそ! 国東市へ!



中村靖夫さんと
奈津美さん夫婦
制作した作品と共に

先月の1月に、兵庫県神戸市から国見町大熊毛に移住して来た中村さんご夫婦。別府で竹細工の修業をしていた時に国東半島を訪れたことがあり、自然豊かな国東市への移住を考え工房兼住居を探していた。ご夫婦共に制作活動をしており、旦那さんは木工芸と竹細工、奥さんは機織り。まずは家の工房を整え、旦那さんが機織り機を製作したのち国東での本格的な制作活動を始める。



ウツロイの帽子
カズミさん
イサカさん
ボウ活動
城谷志

昨年12月に、大阪府豊中市から国見町櫛来に移住して来た城谷さん。神社やお寺の沢山ある国東半島に惚れ込み移住を考えていた。石造・石仏などを採り、自分で地図を作成して楽しんでいる毎日。国東市へ来て二ヶ月が経つが、することが絶えない毎日で充実した国東暮らしを楽しんでいる。お仕事の都合で奥さんはまだ大阪にいますが、暖かくなってきたら一緒に国東での暮らしを始める。

みんなの町の元気な情報大募集!

地域の自慢や、イベント等みんなに知ってほしい活動を国東応援隊新聞に掲載してみませんか?どんなことでも構いません。まずは国東応援隊までお電話ください! ☎0978-72-5161 政策企画課 上平(かみひら)・越名(こしな)までご連絡お待ちしております!

お知り 合いで 頻繁に利用されていない家を 所有されている方へお願い

空き家バンクを利用して国東市へ移住され、地域の力になっている方が増えて来ています。地域のためにも、空き家バンク制度の周知へのご協力をお願いします。詳しくは政策企画課空き家バンク担当まで☎0978-72-5161

市内で使われていない家をお持ちの方は、是非空き家バンクへご登録をお願いします。